

2019年11月30日～12月1日；四日市東日本大震災支援の会 第73回派遣 長野県水害被災地での災害ボランティア活動 報告

2019年12月10日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

2019年9月12日に伊豆半島に上陸した台風19号による被害は、静岡・関東甲信・東北まで、広域で甚大なものになりました。支援の会では、四日市市社協などと連携しチーム四日市として、10月18～19日、11月2～3日に長野市北部ボランティアセンターを經由して活動しました。今回も同じ場所で活動しました。

<活動内容>

■長野市北部被災地での片付け

参加費 高校生・大学生 8,000 円、一般社会人 12,000 円（スタッフ 2,000 円、ドライバー0 円）

<費用の内訳>

- ・四日市ー長野県のバス往復、現地での移動
- ・土曜の夕食・宿泊・入浴、日曜の入浴
- ・ボランティア活動保険など

宿泊 シャレー戸隠 長野市戸隠

<スケジュール概要>

★11月30日(土)

03:30 四日市大学バス停裏のマイクロバス集合⇒出発

09:00～15:00 ボランティア活動

18:00 宿到着 入浴・食事

21:00 就寝

★12月1日(日)

05:00 起床

06:00 出発

09:00～15:00 ボランティア活動

16:30 松本市内スーパー銭湯で入浴

21:00 四日市大学帰着 ⇒ 片付け ⇒ 解散

